

令和4年度をふりかえって

ラグビーフットボール専門委員会

はじめに、京都府中学校体育連盟の先生方ならびに各学校の顧問の先生方、各専門委員の先生方、会場を提供していただいた関係諸団体、また、大会運営にご尽力いただいた皆様方に厚く御礼申し上げ、令和4年度京都府中学校総合体育大会の報告をさせていただきます。

今年度の京都府中学校総合体育大会は、17チームの参加となる。9月3日から10月15日までの7日間の日程で開催されました。

今大会のベスト4は修学院、洛南、長岡第二、伏見の4チームとなる。

準決勝第1試合は修学院と洛南との対戦となる。先制は洛南、洛南陣22mライン右ラックより⑧がトライ。ゴール成功。0-7。この後試合は一方的な展開となる。4分、5分、9分、15分、19分に洛南がトライを決める。前半終了時点で0-42。後半も洛南の勢いは衰えない。22分、27分、29分、34分とトライを決める。しかし試合終了間際に修学院も意地を見せる。39分に洛南が蹴ったボールを修学院がキャッチ⑨トライ。5-68。直後の40分にも修学院、洛南陣ゴール前5mスクラムより⑥トライ。最終スコア10-68。洛南中学校が決勝に駒を進める。

準決勝第2試合は長岡第二と伏見との対戦となる。先制は長岡第二、伏見陣ゴール前右ラックより⑫がトライ。ゴール成功7-0。その後も長岡第二が試合を支配する。10分、12分とトライを奪う。21-0。前半終了間際に伏見が長岡第二陣ゴール前ラインアウトからモールで③トライ。21-5。後半も長岡第二ペースで試合は進む。25分、30分、39分と長岡第二がトライを奪い、36-5とリードを広げる。試合終了間際の40分、伏見も意地を見せる。長岡第二陣ゴール前で得たPKより③がトライ。ゴール成功。最終スコア36-12。長岡第二が決勝に駒を進める。

決勝は長岡第二と洛南との対戦となる。開始早々から圧倒的な力で洛南が試合を支配していく。試合開始早々1分、長岡第二のキックをチャージ、⑪トライ。ゴール成功0-7。3分、6分、16分、20分、前半ロスタイムの22分にも洛南はトライを奪う。前半終了時のスコアは0-40。後半に入っても洛南の勢いは衰えることはない。21分、23分、25分、27分、31分、33分、36分とトライを積み重ねる。0-85。洛南の隙の無い試合運びが光る。試合終了間際の39分に長岡第二が洛南陣に攻め込み連続攻撃、最後③がトライ。ゴール成功。7-85。ここでノーサイド。最終スコア7-85。洛南中学校が圧倒的な強さで優勝を決めた。

以上の結果から近畿大会には長岡第二と洛南が出場した。1回戦で長岡第二は滋賀県代表の津市立瀬田北との対戦となる。試合開始から体を張った低いタックルで粘り強いディフェンスを見せ、攻撃では多彩な攻撃パターンから連続攻撃重ね、19-12で接戦を制し、準決勝へと駒を進める。洛南は大阪代表の枚方市立中宮との対戦となる。低く激しい中宮のディフェンスに苦しむ場面も見られたが、高い個人の能力から得点を重ね、22-7で勝利し、準決勝へと駒を進める。準決勝第1試合で長岡第二は大阪代表の東海大学付属大阪仰星高等学校中等部との対戦となる。序盤から仰星のFW・BK一体となった圧倒的な攻撃力の前に為す術なく12-71で敗退する。第2試合で洛南は兵庫県代表の関西学院中学部との対戦となる。洛南は個々の能力を存分に発揮し得点を重ね、激しく体を張った守備により45-10で決勝進出を決める。決勝は洛南と東海大学付属大阪仰星高等学校中等部との対戦となる。開始早々から両チームとも一進一退の攻防を見せ、非常に引き締まった好ゲームとなる。両チーム死力を尽くした40分でも決着がつかず、19-19の両校優勝となった。

最後になりましたが、中体連の先生方、専門委員の先生方、顧問の先生方、並びに教育委員会、ラグビーフットボール協会のご協力により、大会を無事終了できましたことを報告するとともに、厚く御礼申し上げます。

令和4年度

第63回京都市中学校選手権総合体育大会兼第75回京都府中学校総合体育大会
ラグビーフットボールの部 決勝トーナメント結果

